

第三次上田市総合計画「地域まちづくり方針（案）」（丸子地域）へのご意見及び反映について

1. 地域の特性

No.	意見	方針への反映
1-1	私が丸子の住人になった 40 年前は丸子温泉郷には観光客が多く訪れ活気があった。再生して人を呼び込めるようになってほしい。	「地域の特性」の 4 番に丸子の代表的な観光地の一つとして丸子温泉郷を挙げております。 〈取組の方向性〉③の「魅力ある観光地づくりを推進」を「人を呼び込める魅力ある観光地づくりを推進」と修正しました。
1-2	依田川は丸子のシンボル	依田川が流れていない地域（例えば西内や東内地域）もあるため、シンボルとは明記しておりません。
1-3	中心部に都市機能も住人も集中している	上田市の都市計画では集約型の土地利用による持続可能な都市づくりを進める方針です。 それに沿って、地域まちづくり方針においても〈取組の方向性〉③で、拠点とその周辺の賑わいの創出や事業の推進を掲げております。
1-4	丸子のまちづくりでは鹿教湯温泉から塩川までの地域でそれぞれの地域性があり内村の地域でも西内と東内では大きな違いがありなかなか一つになれない環境があり又依田地区も未だまとまらず少しずつではありますが両地区とも参加の方向性が見え隠れしているのが現状です 他の 3 地区会議は概ねそれぞれの地域性と考え方に沿って活動しているのが現状です	〈取組の方向性〉①に掲げている「地域の実情に合った市民協働によるまちづくり」、「各地区の特色と資源を生かした地域づくり」を推進してまいります。
1-5	5 人口の減少により空き家が増加しておりその対策が必要	市全体の課題については、第三次上田市総合計画本編で参考にさせていただきます。

2. 発展の方向性

No.	意見	方針への反映
2-1	まずはこのスペース内での発展の方向性を記述するのは難しく取り組みの内容に大差があります 各地域により歴史的背景や自然環境により視点が違い活動の内容と交流の仕方や自治会の動きにより大きな差がありますので同一方向を向いての活動に合わせるのが大変と思いますが双方の考え方を同視する方向にて進めております	〈取組の方向性〉①に「地域協議会、住民自治組織、自治会が連携し、地域の実情にあった市民協働によるまちづくりの推進」と記載しているとおり、地域の実情に合ったまちづくりを推進してまいります。

2-2	地域協議会の目的は、この文言には合わないのではないか？ 訂正案 市が積極的に参加し、まちづくり協議会や住民自治組織・自治会が連携して、参加と協働による住民自治を推進 （市の積極的な指導・参加の文言を加える）	該当の部分は、市民による住民自治の推進について記載したものになります。市も協働してまちづくりを推進いたします。
-----	---	--

3. 取組の方向性

No.	意見	方針への反映
3-1	かわまちづくり支援事業地の名称が「丸子かわまち公園」に決まった。せっかく名前ができたのだから記載した方が良く思う。また、祭りについても記載した方が良く思う。	<u>丸子かわまち公園について</u> 新たに整備した公園ではありますが、〈取組の方向性〉①の「各地区の特色と資源」及び、④の「千曲川、依田川、内村川沿岸・堤防・公園」に包含されるということで御理解いただきたいと思います。 <u>祭りについて</u> 〈取組の方向性〉③の「丸子中心市街地から丸子ベル・シティ間の交流と賑わいの創出」に包含されます。
3-2	道の駅の整備を早急に	道の駅については、〈取組の方向性〉③に「地域振興機能を持つ道の駅整備を推進」と記載しています。 第三次上田市総合計画の期間中の供用開始をめざして、現在、事業化に向けて調整を進めております。
3-3	①各組織が連携するのは必要だが、はたしてどのように連携するのか。まだ具体性がみえなく非常にあいまいであり、実現し稼働はじめるのは課題が多そうです。	各組織の連携の具体的な方法や実現可能性については課題が残ることも事実です。 この「地域まちづくり方針」には記載いたしません。今後、さまざまな課題解決のため各組織が連携できるよう、具体的な施策を講じてまいります。
3-4	①中高生のうちから地域と交流し、地元のよさ、魅力を伝えるのは大変意義があり重要なことだと思います。	〈取組の方向性〉①や⑤は、地域の文化や伝統、産業などを理解し、体験することが若者にとって成長につながるだけでなく、地域の活性化や地域づくりにも寄与するとの期待を込めております。

3-5	取り組みの方向性としては各地区会議との連携による共通の課題に向けての取り組みで地域の魅力を UP させる方向で取り組みを実施して地域づくりの推進に力を入れております 色々なネットワークと地域の力と関係各位の協力をいただきながら事業や活動の方向性を見極めながら推進して参りたい 又、地域住民の声を反映し同調できる活動としてサポーターの皆さんにも協力をいただき明るい元気のある丸子をつくって行く方向性です	〈取組の方向性〉①に「連携し、地域の実情にあった市民協働によるまちづくりの推進」、「魅力を高め、住みたい・住み続けたいと思える地域づくりの推進」を掲げております。
3-6	③観光を中心とした地域資源を生かした新たな観光や産業の創出 →地元の人でも地域資源について知っていない人が多いと思う。 地元の人々に知ってもらうのと同時に域外の人々に対する情報発信のしかたを改善できたら良いと思います。 商業、工業含めてこれから急速に後継者不在による廃業等が増えてきます。M&Aという方法でなく、その事業を継いでもらえるようなマッチングの場などが求められるようになると思います。	今後、具体的な事業の遂行の参考にさせていただきます。
3-7	地域まちづくり方針（案）に賛成 公民館、集会所の有効利用？	丸子公民館については、〈取組の方向性〉⑤の「郷土博物館や図書館、公文書館等」に包含されますので、記載されているものとして御理解いただきたいと思います。 地区公民館や集会所については、各自治会で管理する施設であるため、市の計画である「地域まちづくり方針」には掲載しない旨、御容赦ください。
3-8	③新規就農者創出と遊休農地有効活用は、この地域の将来を考えると外せない問題です。ぜひ、積極的にすすめていくべきだと思います。	〈取組の方向性〉③へ記載のとおり、地域農業を促進してまいります。
3-9	④「かわまち」は上田市にとって魅力的な資産になると思います。期待しています。	賑わいの場の創出により、丸子地域にとって新たなランドマークとなるよう取り組んでまいります。

3-10	・西内平井地区活性化を強く願う ・西内地区は保育園、小学校、鹿月荘など多くのものを失っている。バスの便も少なく不便。不便な地域に人は集まらない。活性化に尽力してほしい。	〈取組の方向性〉①で、西内、平井地区の活性化を要点として挙げさせていただいております。
3-11	・②デマンド交通の拡大は必須。業者さんとの交渉は大変ですが、がんばって下さい。 ・デマンド交通が本当に住民の足になれるように充実させてほしい	〈取組の方向性〉②に記載した「地域ニーズに合わせたデマンド交通の充実」を図ってまいります。
3-12	④防災についても今後の災害に備えることはもちろんですが、全国の中でも比較的、災害の少ない地域（地震少ない、雪少ない、雨も少ない等）であることを、もっと強調した方がよいと思います。	災害が少ないという点については、上田市全体の特性と考えますので、地域まちづくり方針ではなく、第三次上田市総合計画本編の作成で参考にさせていただきます。
3-13	⑤良い施設（セレス、音楽村…）が多いので、もっと宣伝して活用していくべきです。	〈取組の方向性〉⑤に「施設の効果的な連携事業を推進」「生涯学習事業を推進」と記載のとおり活用してまいります。
3-14	丸子温泉郷の衰退が気になります 日帰り温泉施設を町の北東部あたりになんていかがでしょうか	丸子温泉郷については、魅力ある観光地づくりを推進する旨を〈取組の方向性〉③の1つ目に記載しております。 市民が利用することで賑わいを生めないか、という提案と史料いたします。今後の事業の参考にさせていただきます。
3-15	①の視点・要素について ・多様化する～による<u>まちづくりの推進</u> ・内村、～思える<u>地域づくりの推進</u> ・丸子修学館高校、～とした<u>地域づくりの推進</u> ②～⑤の文末は具体的でわかりやすいが、①は一般的。できることは何でも対応することだと解釈するが、もうすこし具体的に記したほうが目標がはっきりしてわかりやすく取り組みやすいと思う。	〈取組の方向性〉①の「視点・要素」について、具体性が欠けているとの御指摘をいただきました。 「地域まちづくり方針」においては、大局的見地からの表現になっております。具体的な事業の推進については、今後市の実施計画等で示してまいります。
3-16	防災に対しての住民に対しての十分なマニュアル etc. 必要？	〈取組の方向性〉④の「安心して暮らせる災害に強い地域づくり」の取り組みに包含していると御理解ください。今後、計画の具体的な施策の遂行にあたり、いただいた御意見を参考にしたいと考えます。

3-17	④安心して暮らせる地域作りの推進 防災意識の向上を図るための講習会や防災訓練の開催 防災備蓄品の充実等を加える。	〈取組の方向性〉④の「安心して暮らせる災害に強い地域づくり」に包含されます。 また、防災訓練や備蓄品については、市全体の課題でもありますので、第三次上田市総合計画本編で参考にさせていただきます。
------	--	--

4. その他

No.	意見	方針への反映
4-1	地域まちづくり方針については意見はありませんが、この先もっと細部にわたって計画をたてていくと思います。その中でぜひ検討して頂きたいと思う部分がありますので、今回で良いのかわかりませんが提出させていただきます。 取組の方向性①の部分 「地域の知恵と情熱 未来へ向けた行動力を結集し」とあります。 どの課が地域の知恵を出してもらったり、情熱のない市民に想いをもってもらうように働きかけるのかなども検討して頂けたらと思います。 もちろん1つの課では難しいと思います。よく連携するというフレーズが出てきますが、誰がどのように連携していくのか、そこら辺がうまくいっていないことが多いと思います。色々な部署を経験されている皆様だからこそ上手に連携ができるのではないかと思います。そういった目に見えない部分も「どのようにしていくのか」を見える化して頂ければと思います。 今回の内容とは的外れな内容ですが、提出させて頂きました。	今後、計画の具体的な施策の遂行にあたり、いただいた御意見を参考にしたいと考えます。
4-2	問題点 ・国道 152 号、朝・夕の大屋駅周辺の混雑	丸子地域だけでは解決できない課題であるため、市全体の計画の中で参考とさせていただきます。
4-3	塩川地区（石井以外）が少し寂しいような気がします…。	まちづくり、地域づくりについては〈取組の方向性〉①に包含されていると御理解ください。今後の具体的な取組については、引き続き御意見をいただければと思います。

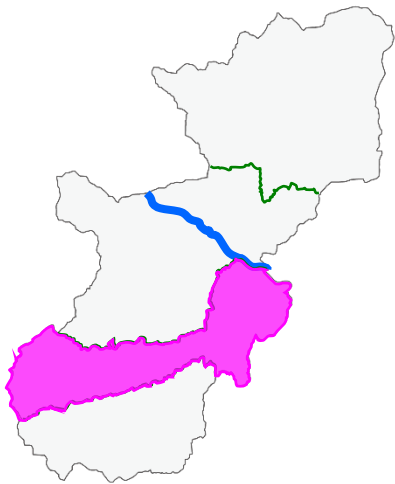
4-4	市全体の計画に対する意見を出す機会地域協議会にないのか	第三次上田市総合計画については、上田市総合計画審議会を設置して審議を進めており、地域協議会としての意見を出す機会はありません。 審議の途中で中間答申を受け、パブリックコメントで広く市民の皆さんに御意見をいただきたいと考えています。地域協議会委員にもパブリックコメントで意見をいただき、計画を作り上げていきたいと考えます。
4-5	「木曾義仲挙兵の地・丸子を次代に継承し、観光資源整備と観光振興を推進」ということについて、「丸子ドドンコ」の後ろに「義仲祭り」を付けた名称とする提案をしたい。	丸子ドドンコ実行委員会で同内容を御提案いただいております。今後、実行委員会において検討を進めていただきたいと思います。

地域まちづくり方針（案）

【丸子地域】

■地域の特性

- 1 依田川を中心に、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた地域
- 2 国道 152 号や 254 号が通る交通の要衝
- 3 高い技術力を持つ製造業の集積地
- 4 丸子温泉郷や信州国際音楽村、梔子ワイナリーなどの観光地が点在
- 5 地域の中心部には都市機能が集積し、沿道型市街地を形成



■発展の方向性 〈まちづくりの基本的方向性〉

- 1 地域協議会、住民自治組織、自治会が連携して、参加と協働による住民自治を推進します。
- 2 地域内外とのアクセス向上と、住民の身近な公共交通の維持による、**軽快便利で迅速**な交通ネットワークを整備します。
- 3 観光を中心とした地域資源を生かした新たな**観光や産業**を創出します。
- 4 次世代を担う子どもを**生み産み**育てられる環境づくり、安心して暮らせる災害に強い地域づくりを推進します。
- 5 多様な人材・団体と連携し、地域資源を活用した生涯学習、文化・スポーツ活動を推進します。

〈取組の方向性〉〈取組の内容視点・要素〉

取組の内容	視点・要素
①参加と協働による住民自治の推進	・多様化する地域課題に対応するため、地域協議会、住民自治組織、自治会が連携し、地域の実情にあった市民協働によるまちづくりの推進
	・内村、丸子中央、依田、長瀬、塩川各地区の特色と資源を生かし、魅力を高め、住みたい・住み続けたいと思える地域づくりの推進
	・公共施設の用途廃止に伴う西内・平井地区の活性化 検討及び老朽化が進む丸子地域の公共施設のあり方を検討
	・梔子ワイナリーを核とした、陣場台地一円の整備と地域活性化を推進
	・丸子修学館高校、上田市商工会及び上田市とのパートナーシップ協定に基づき、交流促進、相互協力、人材育成を目的とした地域づくりの推進
② 軽快な交通ネットワークの整備 便利で迅速な交通ネットワークの整備による地域の活性化	・国道 254 号バイパス 及び現道改良整備建設のさらなる 促進と、国道 152 号丸子バイパスの早期事業化を国や県に働きかけ による 、「上田地域 30 分（サンマル）交通網構想」の促進
	・住民の身近な公共交通である路線バスの維持と、地域ニーズに合わせたデマンド交通の充実
	・幹線道路に接続する生活道路の交通環境整備と、工業のまちとしての地域内企業の活力を高めるアクセス道路整備の推進
③ 観光を中心とした地域資源を生かした新たな観光や産業の創出 観光を中心に地域資源を生かす新しい産業の創出	・鹿教湯温泉・大塩温泉・霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷の個性を生かし、農・商・工・観・医・学と連携させた 人を呼び込める 魅力ある観光地づくりを推進
	・交流人口の拡大と地域経済の好循環のため、地域振興機能を持つ道の駅整備を推進 及び陣場台地周辺の環境整備の充実

	・商工業の拠点である丸子中心市街地から丸子ベル・シティの間の交流と賑わいの創出 ・農産物直売所あさつゆを中心とした新規就農者創出、遊休農地有効活用と、農地集積による地域農業を促進 ・木曾義仲挙兵の地・丸子を次代に継承し、観光資源整備と観光振興を推進 ・林間工業都市・丸子の産業団地化による企業誘致・留置を図り、製造業の持続的成長を促進
④安心して暮らせる地域づくりの推進	・次世代を担う子どもを安心して産み育てられる環境づくりのため、丸子北部地区に地域の子育て支援施設を整備事業を推進 ・千曲川、依田川、内村川沿岸・堤防・公園を健康づくり事業の拠点に位置付け、健幸都市実現に向けウォーキングを中心とした各種健康づくり事業を推進 ・全ての地区に安心して避難できる避難所を整備するとともに、自主防災組織や自治会等と連携し、安心して暮らせる災害に強い地域づくりや、災害時住民支え合いマップの取組を推進
⑤人材・資源を活用した生涯学習・文化スポーツの推進	・文化遺産や近代化遺産の価値を再確認するとともに、地域内の郷土博物館や図書館、公文書館等の地域内施設の効果的な連携事業を推進 ・進取の精神を持つ郷土・丸子を醸成継承するため、さらなる生涯学習事業への参加者を推進 ・信州国際音楽村と丸子文化会館を文化の拠点とし、地域資源との連携による各種事業を推進 ・多様な人材や団体と連携し、文化スポーツ活動団体等の相互交流や、人材を育成

■地域内で活動している住民自治組織

◇丸子まちづくり会議〔平成 28 年 3 月 29 日設立〕

〔地域の課題〕 ・地域コミュニティの共助による地域防災力の向上 ・人口減少による地域力の衰退と高齢者の利便性の確保 ・子育て支援や小中高の教育環境の充実と UJ ターンができる環境づくり	〔まちづくりのテーマ・ビジョン〕 ・地域力を高める 協働のまちづくり ・誰もが安全で 安心して暮らせる まち ・伝統文化が息づき 賑わいのある まち ・地域を愛する 心豊かな子どもを育む まち	〔主な取組分野(予定を含む)〕 ・フリースペース「あったまるこ」企画運営 ・「子どもの明日を考える」講演会・セミナー開催 ・地域防災の講演会や 避難誘導、避難所設営・運営研修会開催
---	---	--